

2021年度 文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験
2021年度 スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験
「産業社会学部」

【文芸】

学科	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
現代社会学科 現代社会専攻	3	8	2
現代社会学科 メディア社会専攻	4		1
現代社会学科 スポーツ社会専攻	1		1
現代社会学科 子ども社会専攻	1		1
現代社会学科 人間福祉専攻	1		1
計	10	8	6

【スポーツ】

学科	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
現代社会学科 現代社会専攻	6	34	9
現代社会学科 メディア社会専攻	1		2
現代社会学科 スポーツ社会専攻	24		14
現代社会学科 子ども社会専攻	4		5
現代社会学科 人間福祉専攻	1		4
計	36	34	34

【選考講評】

1. 実施状況

口頭試問を実施しました。

2. 試験内容

志望理由、入学後の計画、学業と課外活動の両立、および社会的問題への関心と知識。

3. 出題意図

産業社会学部の学びを理解したうえで、入学後の具体的な学びについて十分な意欲と計画を有しているかを確認しました。

4. 評価ポイント

産業社会学部の学びの内容を理解したうえで大学入学後の学びについて具体的な計画

を有し、課外活動と学業の両立について十分な意欲を有しているか。また、学部での学びに関連する社会的問題に気付くことのできる洞察力、およびそれに対する自分なりの考えと知識を評価しました。

5. 解答状況

口頭試問において、受験生の多くは産業社会学部の学びについて一定の理解を示し、入学後に学ぶ内容についても十分に検討した形跡をみとめることができました。また、社会的問題に関する自身の考えを述べることができました。

6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

産業社会学部では学生それぞれが深く学びたいテーマをきめ、学んだ内容を卒業論文としてまとめることが卒業に必要となっています。産業社会学部を志望する受験生は、産業社会学部における学びの内容を十分に理解したうえで、入学後の学びのテーマや課外活動と学業の両立についての具体的な計画をたててほしいと思います。

7. 進路指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

産業社会学部では卒業論文が必須化され、学業と課外活動の両立への強い意欲をもつことが従来以上に必要になっています。理想としては、受験生が課外活動とともに入学後の学びについても意欲的に取り組めるよう、受験生が産業社会学部の学びに適合する関心をみつけ、そのことについて端緒的な学びをはじめられるような指導が望まれます。

以上